[illegible]

十一月三十日

[illegible]

決議

我等は今回溝口メリヤス工場に起った問題即ち工場閉鎖は資本家がその当然[illegible]
運命に到達したものと考へるものである。世の好況、不況はすべて全資本家階級及、[illegible]
ぐる為政者の一国の国内的及び国際的取引関係に依然し、それに依りて起さるゝ[illegible]
資本家及びその一国のみの責任であって係等労働者に轉嫁さるべきものではない。既に資本主義
が行詰り、資本の強力なる集中が行はれつゝあるとき、中小企業は盛に倒壊の作用を行ふ彼
等資本家はそれ等によって蒙る損害を労働者の血肉を測ぎ時間を延長し賃金を[illegible]
し多数従業員を飢死と発狂の迷路に追[illegible]ことによって[illegible]の責任を[illegible]に轉[illegible]
彼等の利益を確保せんとする。見よ！溝口工場主はその好典型ではないか、そして多年
行ふなる欺瞞と過度の搾取に盲従を強へられて来た従業員は地獄の前に今や眼覚め
喚声あげて蹶起したではないか、これ労働者が当然の要求であり、生死の境に立って叫ぶ
無産者解放への関声であらねばならぬ、我等はかくの如き見解の上に立ち[illegible]